



秋田大学広報誌〈アプリレ〉

Aprire

No. 59
2018



〈特集〉
キャンパスライフ

秋田県ご当地グルメ

きりたんぼ鍋
炊いたご飯をすり潰して木の棒に棒状に塗りつけて焼いたものを地鶏、ねぎ、きのこ、ごぼう、せりなどを入れた鶏がらのスープで煮込んだ鍋料理で、秋田県北部の郷土料理です。

稲庭うどん
湯沢市で作られている手延べ製法の干しうどん。日本三大うどんの一つで、ひやむぎより若干太く、薄く黄色がかった色をしています。

ババヘア
春から秋にかけて秋田県内の幹線道路沿いやイベント会場の近くなどにカラフルなバラソルが現れます。売り子である平均70歳を超える「ババ」（秋田弁でおばさんの意味）がヘアを使ってアイス盛ってくれることから、この名前が呼ばれています。

秋大キャンパスライフ

秋田大学では、1年を通じて様々なイベントが行われます。また、秋田県内にも四季折々の行事や豊かな自然を感じる観光名所がもりだくさんです。秋大キャンパスで過ごすかけがえのない日々が充実したものとなるよう、積極的に参加してみてください。

秋田県の春夏秋冬。四季折々の魅力を満喫しよう。



●角館・桧内川の桜
「角館の桜まつり」が開かれる4月20日から5月5日は、桜の名所が一年で最も華やきます。



●大湯村 桜・菜の花ロード
大湯村を走る県道沿いに、ソメイヨシノ、ヤマザクラなど約3600本の桜並木と菜の花畑が約11キロにわたります。ピンクと黄色の鮮やかな花が咲き誇り、訪れた人を楽しませています。



6月 秋田落が見頃
手形キャンパス内で秋田落が見頃を迎えます。秋田落は、茎の長さ1.5m余り、太さ5cm、葉幅1.3mにもなり、6月に秋田市仁井田で行われる落刈りは市の風物詩となっています。秋田大学の学章は、秋田落の葉がモデルです。



●全国花火競技会「大曲の花火」
毎年8月の第4土曜日に大仙市南部を流れる雄物川河川敷を会場に、全国から選ばれた花火師が技術を競う全国花火競技大会が行われます。



●秋田竿燈まつり
国の重要無形文化民俗文化財に指定されている東北三大祭りの一つで、例年270本以上の竿燈が出陣し、期間中の来場者数も約130万人を数える、秋田の夏を代表する行事として親しまれています。秋田大学教職員らで構成する秋田大学竿燈会も昭和46年の初出場以来、連続出場しています。



●法体の滝
由利本荘市鳥海町にある流長100m、落差57.4m、滝幅3m～30mの末広がりの名瀑で、日本の滝100選にも選ばれています。鳥海山の豊富な雪解け水、湧水を集め3段にわたって流れ落ちる豪快な滝です。



●秋田内陸縦貫鉄道
秋田内陸縦貫鉄道が運営する角館駅(仙北市)から鷹巣(北秋田市)までの約94キロメートルを結ぶローカル線。沿線には国指定史跡・伊勢堂岱遺跡や森吉山などの観光スポットが多数存在し、車窓からの四季折々の風景も美しく、全国の鉄道ファンから愛されています。



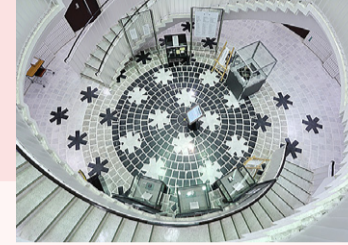
●なまはげ柴灯まつり
みちのく五大雪まつりのひとつなまはげ柴灯(せど)まつりは、秋田県鹿角市北浦の真山(しんざん)神社で行なわれる男鹿の冬を代表する冬祭りとして昭和39年に始まり、毎年2月の第二金・土・日の3日間開催されます。この祭りは神事「柴灯祭(さいとうさい)」と民俗行事「なまはげ」を合わせた冬の観光行事です。真山神社境内に焚き上げられた柴灯火のもとで繰り広げられる勇士で迫力あるナマハゲの乱舞は見る人を魅了します。



●横手のかまくら
およそ450年もの伝統をもつ冬の風物詩。中に入って正面に祀った水神様にお賽銭を上げ、家内安全・商売繁盛・五穀豊穡などを祈願する小正月行事です。



12月 イルミネーション
街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変え、学生だけではなく地域住民の方々にも秋田大学に親しんでもらえるようにとの願いを込め、イルミネーションの点灯を実施しています。冬の夜を明るく照らすイルミネーションで手形キャンパスは幻想的な雰囲気に包まれます。また、平成29年度にはイルミネーションとコラボレーションする形で、学生が制作したプロジェクションマッピングの投影を行いました。



5月 鉱業博物館無料開放
大学院国際資源学研究所附属鉱業博物館では、「地質の日(5月10日)」にちなみ毎年施設の無料開放を実施し、当日は中学生や多くの地学ファンで賑わいます。無料開放はこのほか、大学の催しや「国際博物館の日(5月18日)」などにも合わせて行っておりますので、ぜひお越しください。

8月 子ども見学デー
毎年夏休みに、小学生とその保護者の方を対象にした「秋田大学子ども見学デー」を実施しています。普段なかなか見ることのできる研究室や実験室、図書館などを見学できるほか、楽しくワクワクする体験を学生・教職員たちが準備して皆さんをお待ちしています。

11月 全学駅伝
学生同士や、学生と教職員、一般市民団体との交流を深め、スポーツ精神を養うことを目的に、例年男女合わせて30チームほどが健脚を競っています。応援も含めて秋田大学全体が熱狂する伝統行事です。



3月 卒業式
学部と大学院の卒業生が社会への第一歩を踏み出します。式の終了後、会場の外では、卒業生がサークルの後輩や保護者などから祝福を受け、記念撮影や胴上げを行います。

4月 入学式
新入生が一堂に会し、入学式を行います。式の終了後、会場の外では学生サークル・部活動の先輩たちが新入生の勧誘を行い、賑わいます。



7月 オープンキャンパス
手形・本道の両キャンパスを舞台に、各学部の説明会や模擬授業、秋大生による研究室紹介など、秋田大学での学びの魅力を伝えるオープンキャンパスを毎年開催しています。キャンパスツアーや学食体験など、来場者の皆さんへ秋田大学のキャンパスライフを実感していただいています。

10月 秋田大学祭・秋田大学ホームカミングデー
「秋田大学祭」は、各学部の交流、また学生と教職員や一般市民との交流を深めることを目的として毎年実施し、学内外を問わず親しまれています。また、秋田大学卒業生を対象とした「秋田大学ホームカミングデー」も同時開催し、卒業生の憩いの場となっています。



リレーエッセイ 第7回

秋田大学に期待すること

秋田大学経営協議会学外委員の皆さんから秋田大学に対するメッセージを寄せていただいております。

秋田県教育委員会教育長 米田 進

旭水の流れは絶えずして、日、国全体の教育の現状把握等を目的に、初めて「全国学力調査」が行われた。平均点で、小学校が国語、算数とともに全国で最下位、中学校でも国語は最下位で、数学は下から二番目、という本県の結果は関係者にとって大きな衝撃を与えたという。その後、昭和四十年二月の「教育あきた」でも「各科目、全国平均を下まわり、本県児童生徒の学力が予想以上に低い」とある。

ところが、約五十年後、平成十九年度実施の「全国学力調査」における本県の児童生徒の結果をみると、たまたま驚きを隠し得なかったようだ。しかし同時に「たまたま偶然であったとしても、この良好な状況を継続したい、できれば一層の向上を図りたい。それが我々の責務である」と密かに決心したという。

以来、平成二十九年までほぼ十年にわたり秋田の子どもの「学力」は全国でトップクラス、「学習状況」でも望ましい状況を保ってきているところである。かつての最下位クラスからトップクラスに躍り出

て、それを維持していることは、学校教育の場において多数を占めている秋田大出身の先生方の力によるものと確信している。先輩諸氏並びに現在学校において教育に携わっている秋田大学OBが教育について熱く語り合い、切磋琢磨して指導力を向上させ、今の秋田の探究型授業の確立に努めることと、地道に家庭や地域との協働に努め、子どもたちが学ぶための豊かな確かな土壌を築いていただいたことに改めて感謝したい。

新学習指導要領の実施に向け「問題を発見し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決していく児童生徒」を育てるべく、県は秋田大学と力を合わせて新たな教育課題に挑み、次の時代を逞しく生き抜く人々を育てるために鋭意努力していきたい。秋田大学が幅広く底の深い「旭水の流れ」を、時代の動きを的確に捉え、将来の見通しを明確に持ち、絶えず力強く牽引する人材を多数輩出してくれることを心から願うものである。

あなたのアイデアで秋田大学の魅力を一緒にPRしませんか?

学生広報スタッフ募集

学生目線から、秋田大学の広報活動をサポートしていただくボランティア活動です。広報課の職員と協働で秋田大学・秋田大学生を学内外に発信しませんか? 広報活動に関心のある方、マスコミ業界を目指す方、やる気のある秋大生をお待ちしております!

主な活動内容

- 学生による取材・インタビュー
- 広報誌などの記事作成
- 大学オリジナルグッズの制作
- その他、学生視点で進めるアイデアの提案 など

活動方法

- 月に1、2回ミーティングを開催します。
- メールなどで意見募集や情報交換などを行います。

一緒に活動しましょう!

応募資格
秋田大学の学部生及び大学院生

応募方法
氏名、学部・学科・学年、連絡先(携帯番号・メールアドレス)を明記のうえ、下記アドレスへお送りください。右下のQRコードからも応募可能です。

応募・問合せ先
秋田大学広報課 TEL: 018-889-3019
E-mail: kouhou@jimu.akita-u.ac.jp

男鹿半島はいいぞだあ
空気はうめえし
水っももうめえし
武田のとうふもうめえなあ
やっぱり
男鹿はいいぞだあ

武田のとうふ

秋田県男鹿市男鹿中山町下学の新20番地の10
TEL 0185-33-2505 FAX 0185-33-3531

Kashiyama Vacuum Solutions

真空ポンプで世界 No.1を目指す!

樫山工業株式会社

〒385-8511 長野県佐久市根々井1-1 TEL: 0267-67-3311
http://www.kashiyama.com info@kashiyama.com

ホームページで新卒採用エントリー受付中

豊かな自然を引き継ぎ成長していく会社でありたい。

雄勝セラミックスは、創業以来たずさわる電子部品製造のノウハウと、未来に向けてICT技術と地域の自然を融合させて事業を推進しております。

事業内容
◆電子部品製造加工 ◆情報システム開発 ◆食品製造販売

雄勝セラミックス株式会社
OGACHI Ceramics CO.,LTD

〒019-0203
秋田県湯沢市寺沢字本郷82-1
Tel 0183-52-4343 Fax 0183-52-4348
http://www.ock.co.jp/

僕らの課外活動

写真部

秋田大学経営協議会学外委員の皆さんから秋田大学に対するメッセージを寄せていただいております。

秋田大学経営協議会学外委員の皆さんから

代 表: 杉山 達央 (理工学部システムデザイン工学科 2年次)
活動頻度: 週1で部会を開催
活動場所: 写真部部室(教育文化学部5号館裏のサークル棟)

“かけがえのない瞬間・場面”を撮る

“写真を撮る・見る”ことが大好きなメンバー約70人で構成の写真部。国際資源学部、教育文化学部、医学部、理工学部と、全ての学部から学生が集まっています。

部員は個性多様で、デジタル一眼で撮影に臨む人やフィルムカメラで撮影し、部室内の暗室で現像する人、スマートフォンのカメラ機能を使い日常の一瞬を切り取る人など様々ですが、“かけがえのない瞬間・場面”を撮る気持ちは、皆一緒です。

こんな活動をしています

●写真展の開催

写真展では、「動物(猫など)」や「色」などのテーマごとのグループ作品や個人が自由に撮影した写真を展示しています。作品は、大学内のインフォメーションセンターなどを利用して、学内だけではなく地域の方々にも観覧いただいています。

また平成29年度は、秋大祭に合わせて写真部有志による写真展を開催。メンバーが撮影した写真のポストカードやスマホカバー、上手な料理写真(俗に言う飯テロ写真)の撮り方を解説した小冊子などを販売しました。

写真展にぜひお越しください!
部員の力がそろう写真展にぜひお越しください。写真展の開催日時、場所はTwitterなどで発信しています。
Twitter: 秋田大学写真部 @AKTUNIVphoto

●写真旅行

写真撮影を兼ねた旅行の企画も行っています。主に秋田県内や東北近隣の観光地に撮影に出掛けていますが、過去には、角館の武家屋敷や抱き返り溪谷ほか、青森県と秋田県の県境に位置する白神山で十二湖を撮影(青森県不老死温泉に宿泊)したり、フェリーを利用して北海道へ行ったことなどもあります。

他大学との交流で切磋琢磨

東北学院大学・東北大学・宮城教育大学・宮城学院女子大学(順不同、年により入れ替わり及び参加大学の増減あり)等の写真部と合同で東北学生写真展を毎年開催しています(場所: 仙台市せんだいメディアテーク)。

学内の写真展とは異なる観覧層や観覧人数を経験することで、自分たちが普段行っている写真展の改善点を考察する場となっています。また、他大学の皆さんと情報交換や交流を深めることによって、互いに切磋琢磨していく活動ともなっています。

県写真展公募展で入賞・入選

平成29年度第35回秋田県写真公募展において、部員3名の作品が入賞・入選し、秋田市のアトリオンで展示されました。617点の応募から、入賞・入選したことは、自分たちの活動の自信につながりました。今後も様々な写真展やコンテストに応募していきたいと思っております。

秋田大学広報誌<アプリーレ>の表紙撮影を行うことになりました

今号(No.59)から、表紙の撮影を写真部が行うことになりました。学生目線での「大学」を発信していきたいと思っています。表紙の採扱はコンペで行われ、写真部の活動にも刺激になっています。

写真部に入部しませんか?

写真部では、随時部員を募集しています。写真に興味のある方、写真が好きな方、初心者の方も歓迎しています。代表の杉山達央さんは、自分が写真をはじめたきっかけについて「そこにカメラがあったから」と話します。「写真部という敷居が高く、「良いカメラを持っていないと入れない」、「センスがないからダメだ」などと思わないでください。カメラを持っていない方も貸出用のカメラがありますので大丈夫ですし、使い方は先輩が優しく教えてくれます。皆さんの感性で自分にしか撮れないステキな写真を撮りませんか? 入部をお待ちしています」とメッセージをいただきました。

NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

2017.12. >>> 2018.02.

DECEMBER

イルミネーションと学生が作る プロジェクト「イルミネーションマップ」の コラボレーション

12月4日から2月25日の期間、周辺地域街づくりの環境として、夜の学園街を明るく照らすイルミネーションを手形キャンパスで点灯しました。また今年度は、初の試みとして、学生が制作したプロジェクト「イルミネーションマップ」の光の共演を通して、学生の積極的かつ自主的な活動を広く発信する場にとともに、地域の方々により大学に親しみをもち、秋田大学混声合唱団「Choir Enthusiasts」を目的に実施されました。

JANUARY

初日となる12月21日には、おブニングセレモニーが開催され、学生教職員、地域の方々約100名が訪れました。山本文雄学長から「学生が自らの創意工夫で作った作品を、ぜひ多くの方に楽しんでほしい」と挨拶があり、同プロジェクト代表・大学院理工学研究所の佐々木怜衣さんとともに、「プロジェクトイルミネーションマップ」の投影スライドを押し、秋田大学混声合唱団「Choir Enthusiasts」の合唱にあわせて、大学施設を繋ぐ廊下に光のアーチが映し出されました。プロジェクトは、季節に合わせたものから学生のアイデアによる斬新なものまでバラエティ豊かな内容を投影され、見に来た人々の目を大いに楽しませていました。

野球少年向け投球障害予防教室 in 北秋田

12月17日、北秋田市教育委員会及び北秋田市スポーツ少年団の協力のもと、鷹巣体育館で「野球少年向け投球障害予防教室」を開催しました。この講座はメデイカルチエックを通して、少年野球選手やその保護者、指導者が身体のケアについて意識するきっかけとなることを目的に、北秋田市スポーツ少年団員36名とその保護者、指導者ら合わせて約60名が参加しました。参加小学生は大学院医学系研究科保健学専攻の岡田恭司教授と齊藤明助教、大学院生、学生らが運営する7つのブースを順番に周り、超音波による肘の骨の形状や筋肉の硬さ、関節角度や柔軟性、筋力など現在の身体の状態を確認した後、投球障害予防のためにハイスピードカメラを使用した投球フォームのチェックやストレッチの指導を受けました。特に投球フォームのチェックでは、普段なかなか見ることのない自分自身のフォームに参加小学生は興味津々になり、怪我をしないフォームの習得に熱心に取り組んでいました。



超音波でのチェックの様子

「WFEDF2018世界U-24アルティメット選手権大会」 ミックス部門で日本が準優勝 日本代表選手として出場した秋田大学の学生が学長へ受賞報告

秋田大学の学生団体アルティメットフリスビーサークル「BUZZ」が「WFEDF2018世界U-24アルティメット選手権大会」ミックス部門で日本代表選手として出場し、1月7日から13日にかけてオーストラリアで開催された「World Flying Disc Federation 2018世界U-24アルティメット選手権大会」ミックス部門において、同部門で日本初となる準優勝を飾った。この大会に出場した学生3名が1月23日に山本文雄学長に受賞を報告しました。「アルティメット」は、各7名からなる2チームがプラスチック製のフライングディスクを、縦100メートル・横37メートルのコートの上で競うエンパソン（ゴールエリア）までパスで運ぶスポーツで、ディスクの特性を活かしたダイナミックなプレイや、広いコートで駆け回る持久力が求められる。世界の競技人口は15万人を数え、国内でも大学生を中心に普及するなどの広がりを見せており、今後のオリンピック競技種目入りを目指す動きも出ています。代表メンバーとして出場した間瀬友亮さん、佐藤光さん、榎本雅久さんが学長室を訪れ準優勝を報告。間瀬さんは「実力では日本代表を上回る世界の強豪たちと相手に準優勝という結果を残せたことは大変嬉しく思う。一方で、あと一歩という悔しさも残った大会だったので、今回の経験を糧に、今後もさらに精進していきたい」と話し、山本学長は「秋田大学の学生が日本代表選手として、世界大会準優勝に貢献できたことを誇りに思う。決勝戦で感じた悔しさをバネに、これからも努力を重ねて、より一層の活躍を期待する」と受賞を称えました。



受賞報告の記念撮影(左から佐藤光さん、間瀬友亮さん、山本学長、榎本雅久さん)

学生サークル「AKT eco」のメンバーが 穂積志秋田市長とランチトーク

秋田大学の学生課外活動団体「環境サークルAKT eco」のメンバーが、秋田市の穂積志市長と、環境をテーマとしたランチトークを行いました。このランチトークは、市長が直接、若者と意見交換する機会を設け、市の施策などに生かすとともに、若者の市政への関心や理解を深めることを目的とし秋田市が主催しているものです。1月28日に秋田市内のホテルで開催された同イベントにはAKT ecoから8名の学生が参加し、穂積市長とともに、環境に配慮した取り組みなどについて意見交換を行いました。イベント終了後、サークル代表・理工学部の大阪飛翔さんからは、「市長と直接話すと貴重な機会をいただき、今後のサークル活動の励みとなりました」と感想が寄せられました。AKT ecoは、学生に環境を身近に感じてもらう「楽しく環境活動を行う」ということを取り掲げ、学内での自主的な取り組みのほか、学外への環境イベントに積極的に参加しています。



意見交換の様子

教育文化学部及び大学院教育学研究科と 秋田刑務所が学生の 人材養成等に関する 連携協定を締結

秋田大学教育文化学部及び大学院教育学研究科と秋田刑務所は、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、再犯防止推進法等の推進、人材の養成に寄与することを目的として連携協定を締結しました。主な連携内容は、学生の人材養成（公認心理師養成に伴う講義や実習に関すること）や教員の共同研究（受刑者の特性に応じた改善指導方法の検討など）。

2月8日に秋田刑務所で挙行された協定締結式では、武田篤教育文化学部長と五十嵐定一秋田刑務所長による協定書への署名が行われました。武田学部長は「秋田刑務所との交流はこれまで、平成30年度から心理学の初級国家資格である公認心理師養成のカリキュラムが開始されることを受け、学生が矯正領域での心理学を学ぶ場としてさらなる協力を仰いでいきたい」と述べました。五十嵐所長からは「大学の研究のノウハウを反映させていただくことにより、受刑者の改善指導のプログラムに対する効果検証等、より良いものとなっていく。再犯の防止に向けてさらに取り組みを行きたい」と挨拶がありました。

2月8日に秋田刑務所で協定書に署名した五十嵐所長と武田学部長

FEBRUARY 特別支援学校、「第4回わかはとショップ」を開店



カフェでの接客の様子

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校高等部は2月1日、手形キャンパスのインフォメーションセンターで、「第4回わかはとショップ」を開店しました。今年度最後の開催となったこの日は開店時から多くの人々が来店し、同校の生徒が1点1点手作りの陶器やクラフト商品を買って求めました。店内では手織り手法のひとつである「さざり織り」の実演も行われ、見学者は熱心に質問をしたり、カフェの温かいコーヒーやカフェオレを飲みながらくつろいでいました。生徒たちは接客に改善や工夫をこらし、陶芸コーナーでは、包装した商品を間違わずに渡せるよう購入者に番号札を配付したり、カフェで待っている来客に、使用しているコーヒー豆やブレンドの説明をするなど、「わかはとショップ」が来店客にとってより良い店となるよう取り組んでいました。

第1回開店の際は緊張した様子の生徒たちでしたが、元気な声であいさつをしたり自信を持って商品の説明をするなど、回を重ねるごとに活気のある接客となりました。



協定書に署名した五十嵐所長と武田学部長

アプリーレの表紙写真は、学生サークル「秋田大学写真部」の皆さんが撮影しております。

秋田大学
写真部
Akita-univ. Photography Club

撮影者：秋田大学写真部 萩原 和哉さん
(大学院理工学研究所博士前期課程1年)

今回の表紙写真は、実際の講義（「日本国憲法C」）風景を撮影したものです。「先生の説明に集中し、テキストに書かれている大事なところをチェックしている」というような場面でしょうか。授業担当の棟久敬先生（教育文化学部）をはじめ学生の皆さんご協力ありがとうございました。

広報課

ヒトには
創れないモノがあるから。

いつからだろう
四季の移ろいを、あたり前のように
感じられなくなったのは
いつからだろう
自然の恵みに抗い始めたのは
後悔しても
人には創れない
なつかしい風景のために
自然と私たちのあたり前の関係を
維持するために
さあ、いっしょに循環型社会へ

ユナイテッド計画 株式会社
本社/〒018-1414 湯上市昭和豊川橋本字機13-1
TEL:018-877-3027 FAX:018-877-3986
リサイクルショップ秋田事業所/TEL:018-864-0668 FAX:018-864-0680
リサイクルショップ上郷事業所/TEL:018-877-5770 FAX:018-877-5794

おいしい魚を世界の海から食卓へ

丸水秋田中央水産

代表取締役社長 鈴木 信夫

秋田市外旭川字待合 28
TEL 018-869-5311 FAX 018-868-1931

株式会社 松田
株式会社 湯沢生コン

地域の発展とともに
松田グループ

株式会社 丸栄建設
株式会社 出羽運輸
株式会社 エイコウ物産

【本社】湯沢市字鶴館 39-4
TEL : 0183-73-0188
URL : http://www.matsuda-group.jp/

私達は、常にお客様の信頼と満足を目指し、より質の高い工事とサービスを提供します。

ISO9001:2015 認証取得
能代電設工業株式会社

http://noden.jp/
〒016-0801
秋田県能代市浜通町1-45
TEL 0185-54-4249

地域を支える企業を目指して、豊かな自然と、豊かな未来を。

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に
一般財団法人 丁酉会

保険調剤
てい ゆ う かい
丁酉会薬局

秋田大学病院前

イベント&講座・講習会

Event, Seminar, Workshops & Extension course

催し物

鉱業博物館無料開放日

「科学技術週間」や「地質の日」、「国際博物館の日」などに合わせ、無料開放します。

- 4月21日(土)～22日(日)9:00～16:00
- 5月10日(木)9:00～16:00
- 5月18日(金)～20日(日)9:00～16:00
- 鉱業博物館(秋田市手形字大沢28番地の2)
- 対象/どなたでも
- 参加費/無料
- ☎018-889-2461
(大学院国際資源学研究所附属鉱業博物館)

教育文化学部天文台イベント

天文サイエンスカフェや大学教職員による天文講演会、45cm反射望遠鏡を使った夜間天体観望会を実施します。

- 5月5日(土)17:30～20:00
- 6月2日(土)18:00～20:30
- 7月7日(土)18:00～20:30
- 教育文化学部3号館3階301地学実験室ほか
- 対象/どなたでも
(夜間観望会は中学生以下は保護者同伴)
- 参加費/夜間観望会は保険料1人50円
- ☎018-889-2655(教育文化学部地学研究室)

医学部附属病院

「看護の日～看護のこころをみんなのこころに～」

5月12日の「看護の日」にちなんで、看護への関心と理解を深めてもらうため、ポスター掲示や看護イベントを実施します。

- 看護週間 5月10日(木)～14日(月)
- 看護イベント 5月11日(金)10:00～12:00
- 医学部附属病院 外来棟1階 ホスピタルロード
- 対象/どなたでも
- 参加費/無料
- ☎018-884-6039(医事課医療サービス室)

今日歩大祭2018

スポーツを通して、大学生活を共にする新入生同士や在学生などとの交流を深めることを目的とした、体育会の催しです。

- 5月26日(土)9:00～16:00(予定)
- 秋田大学(手形地区)から太平山リゾート公園(仁別) [往路:徒歩、復路:バスにて帰着]
- 対象/秋田大学の学生及び教職員
- 参加費/学生1,000円、教職員2,000円(予定)
- ☎018-889-2255(学生支援・就職課)

オープンキャンパス2018

手形キャンパス、本道キャンパスで秋田大学のキャンパスライフを体験できる企画を多数予定しています。プログラムの詳細は、秋田大学ウェブサイトの「入試情報」に随時掲載します。

- 7月28日(土)時間未定
- 手形キャンパス、本道キャンパス
- 対象/高校生および保護者など
- ☎018-889-2256(入試課)



文部科学省「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン」採択プログラム

秋田大学 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン講演会

「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成する本事業の内容について、講師が講演します。

- 5月12日(土)秋田ビューホテル(秋田市中通2-6-1)
- 7月21日(土)秋田大学本道40周年記念会館
- 対象/どなたでも
- 参加費/無料
- ☎018-884-6261(秋田大学がんプロ事務局)

秋田大学みらい創造基金 ご協力をお願い申し上げます。

「秋田大学みらい創造基金」は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

みらい創造基金による事業紹介

○秋田大学「新入生育英奨学資金」の設立(一般基金)



平成26年度に解散した財団法人土崎感恩講より経済的困窮学生支援の目的でいただいた寄附金を財源として、平成30年度から新たに、学部新入生を対象とした秋田大学独自の給付型奨学金制度「新入生育英奨学資金」を設立します。給付額は1人10万円(入学料免除許可者は5万円)となります。申請方法等詳細については、学生支援・就職課(電話:018-889-2265)へ確認してください。

※財団法人土崎感恩講は、1830年に現在の秋田市土崎の有志161人が私財を持ち寄り、窮民救済を目的に設立された法人。平成26年に解散。

○学生海外派遣支援事業(一般基金)

秋田大学の協定校へ交換留学する学生に、往復に要する国際線の航空運賃の一部を補助しています。平成29年度は中国、アメリカ合衆国、カナダに留学中の4名に対し支援を行うこととしています。

平成30年度の募集については、国際課(電話:018-889-2856)へ確認してください。

〈寄附者ご芳名〉この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業・団体等

- 秋田県厚生農業協同組合連合会 様
- 秋田市役所落学会(秋田大学教育学部・教育文化学部同窓会) 様
- 株式会社秋田新電元 様
- 秋田大学有志一同 様
- 羽後電設工業株式会社 様
- 総合施設株式会社 様
- 損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー株式会社 様
- 医療法人社団なのはな会 様
- 有機互販会事業組合 様

個人

- 相原 紘一 様
- 浅田 昌弘 様
- 安達 知子 様
- 市川 逸郎 様
- 今村 聡 様
- 上村 英彦 様
- 小山 芳克 様
- 加藤 弘毅 様
- 加藤 末廣 様
- 川村 教一 様
- 桐澤 武 様
- 工藤 英美 様
- 工藤 優 様
- 國吉 幸男 様
- 黒沢 裕子 様
- 小島 康 様
- 古谷 誠 様
- 三戸 学 様
- 柴田 正臣 様
- 島田 孝蔵 様
- 白山 公幸 様
- 鈴木 徹哉 様
- 相馬 政男 様
- 田川 幸雄 様
- 田澤 千寿子 様
- 多田 博紀 様
- 田畑 祐助 様
- 豊澤 琴江 様
- 西川 俊昭 様
- 藤井 蘭子 様
- 藤嶋 健一 様
- 佐藤 美起雄 様
- 細谷 浩喜 様
- 三浦 十九夫 様
- 武藤 攻一 様
- 目時 秀一 様
- 守屋 公司 様
- 山岡 彰 様
- 山方 暹 様
- 山崎 千佳 様
- 山田 志津子 様
- 山本 洋二 様
- 和光 かおり 様
- 渡邊 明彦 様

他 匿名希望 36名様(延べ数)(平成29年11～平成30年1月末入金分 五十音順)

- 〈ご寄附のお願い〉 ●個人の方: -□ 1,000円
●法人の方: -□ 10,000円

この基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口のご協力をお願いいたします。また、継続的なご寄附もお待ちしております。寄附者様のご都合に合わせた寄附方法・金額の設定が可能ですので、詳細は基金事務局へお問い合わせください。

- 〈ご寄附の方法〉 ●振込によるご寄附 ●クレジットカードによるご寄附
●古本募金によるご寄附 ●遺贈によるご寄附

寄附のお申し込み、詳細につきましては、秋田大学公式ホームページをご覧ください。基金事務局までお問い合わせください。

一般基金

大学全体の活動を広く支援する基金です。6分野の事業に活用いたします。

- ①教育の質の向上及び研究の推進支援
- ②卒業生・産業界等との連携支援
- ③学生への奨学金等支援
- ④学部等への支援
- ⑤教職員・学生等の国際化・文化・社会活動等支援
- ⑥施設・環境整備の充実

特定基金

- ★ 病院寄附金
- ★ 国際資源学部寄附金
- ★ 教育文化学部寄附金
- ★ 医学部寄附金
- ★ 理工学部寄附金
- ★ 附属学園寄附金
- ★ 修学支援事業寄附金

〈古本募金のおお願い〉

読み終わった書籍(CD・DVD等を含む)を本学の提携業者が買い取り、その売却代金をご寄附いただく「古本募金」をぜひご活用ください。5冊以上から送料無料でご指定の場所に集荷に伺います。ご希望の方は、下記にお電話いただくか、秋田大学ホームページからお申し込みください。

株式会社バリューブックス ☎0120-826-292

(電話受付時間 10:00～21:00 日曜は17:00まで)

※「秋田大学みらい創造基金「古本募金」の申込」とお伝えください。



〈お申し込み・お問い合わせ先〉

秋田大学みらい創造基金事務局 〒010-8502秋田市手形学園町1番1号
☎018-889-3266(総務企画課内) kikin@jim-u.ac.jp

秋田大学みらい創造基金は秋田大学公式ホームページからお申し込みいただけます。
(http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)